

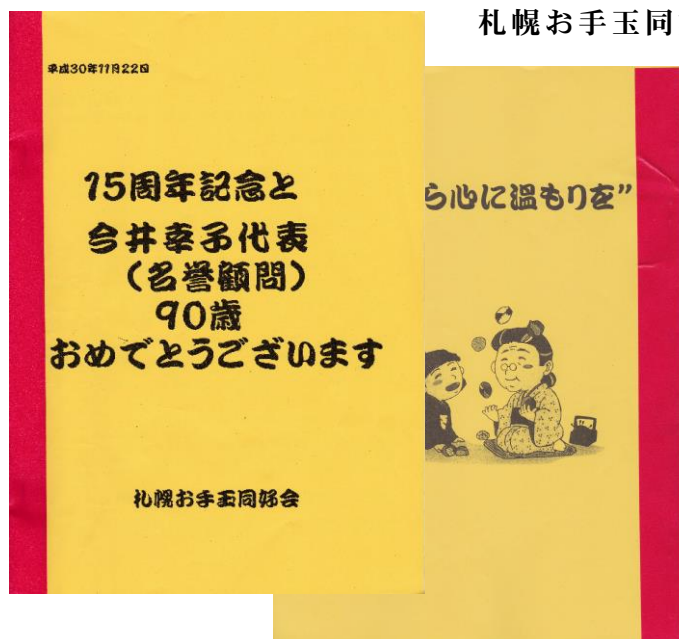
発行：日本のお手玉の会本部 〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町 10 番 1 号

TEL : 0897-32-0302 / FAX : 0897-32-0311

e-mail:honbu@otedama.jp URL : http://www.otedama.jp

## 15年の歩みと今井代表を称え

### 札幌お手玉同好会が記念誌を発行



札幌お手玉同好会(西村寛幸会長)は、平成15年の設立から15年目を迎えた平成30年11月22日、記念誌を発行しました。(写真左)

巻頭で、西村会長が「創立15周年と今井幸子代表(名誉顧問)の卒寿(90歳)おめでとうございます」と述べられているとおり、同好会の歩みと、90歳を迎えた今井代表の回想などがつづられています。

今井さんは、これまでに3万2千個のお手玉を作りました。現在も、同好会の仲間とともに、お手玉づくりにも励んでいることも、記録されています。

さらに、31人の会員全員の活動歴、入会のきっかけ、印象に残った活動、同好会への要望・希望が述べられていて、読み応えのある記念誌になっています。

そのほか、会の活動の記録が、当時の資料とともに掲載されていて、全体でA4版82頁という大作になっています。

同好会の設立に参加した今井さんは、市内の図書館で日本のお手玉の会の存在を知り、すぐさま会員になり、その後、佐野栄一2代目会長らとともに同好会を立ち上げました。

その佐野さんは、北海道では初めてのお手玉遊び大会を企画し、本番直前に脳梗塞で倒れられ、その成果を見ることなく亡くなられました。

その佐野さんの意思を継いだ西村会長が、リーダーシップを発揮して、お手玉遊び指導者講習会、月2回の例会の開催や、市内各地の児童館や小学校などでのお手玉遊びの指導を始め、お手玉づくりにも取り組むなど、お手玉の普及・伝承を精力的に推進しています。(写真上：100人が参加した講習会)

そうした会員のみなさんの活動が、この記念誌で熱く語られています。

記念誌をまとめられた西村会長は、「この同好会のまとまりを、さらに強固なものにし、会員のみなさんとともに、お手玉の普及に努めていきたい。編集にあたっては、蔦道子副会長にご協力をいただきました」と話しておられます。

